

講演②

日本酪農における新規就農
—高齢化と新規就農者の育成—

講演者:

小林 信一

(静岡県立農林環境専門職大学 名誉教授)



日本酪農における新規就農
—高齢化と新規就農者の育成

静岡県立農林環境専門職大学
名誉教授 小林 信一

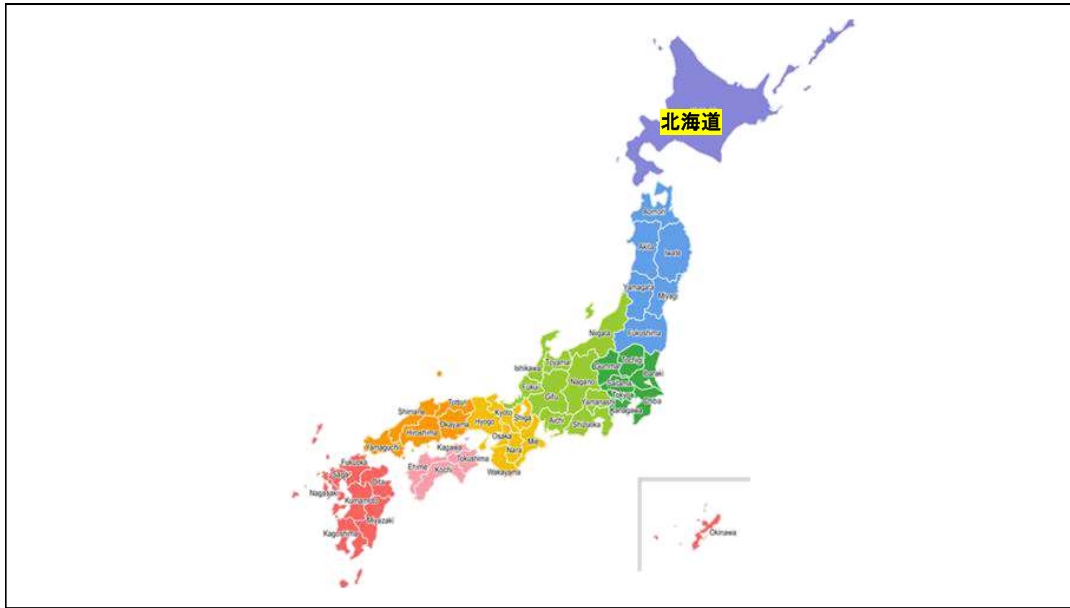


Contents

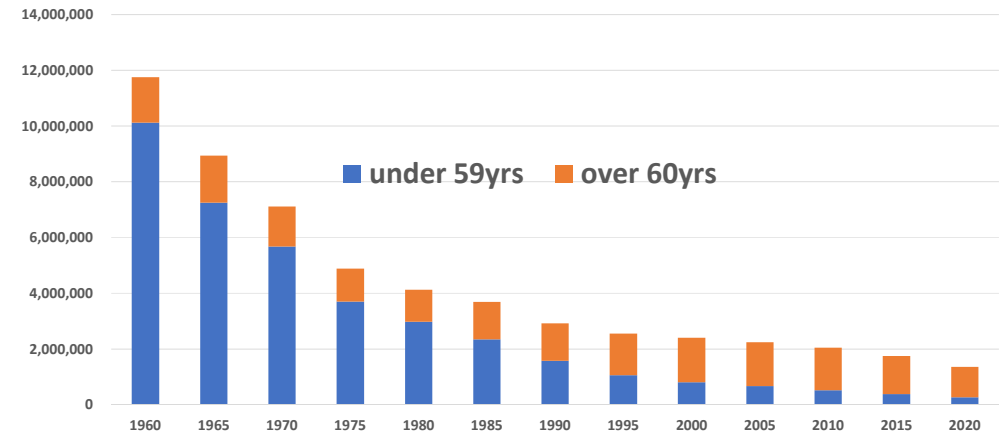
1. 農業分野の担い手と高齢化問題
2. 酪農分野における新規就農者の育成
 - 2-1 農場リース制度
 - 2-2 北海道浜中町
 - 2-3 全酪アカデミー
 - 2-4 JA畜産経営継承支援事業
3. 酪農ヘルパー制度
 - 3-1 新規就農へのキャリアパス
 - 3-2 傷病時互助制度
4. 酪農業への新規参入者の例
5. 担い手確保に必要なこと

日本酪農の概要

事 項	単 位	数 値	年度
生乳生産量	百万トン	7.3	2023
うち北海道		57%	2023
うち乳製品		47%	2023
輸入 (生乳換算)	百万トン	4.3	2023
酪農家戸数		11,900	2024
乳牛頭数		1,313,000	2024
1戸当たり乳牛頭数	頭/戸	110	2024
1頭当たり搾乳量	kg/頭	8,809	2023
総合乳価	円/kg	118	2023

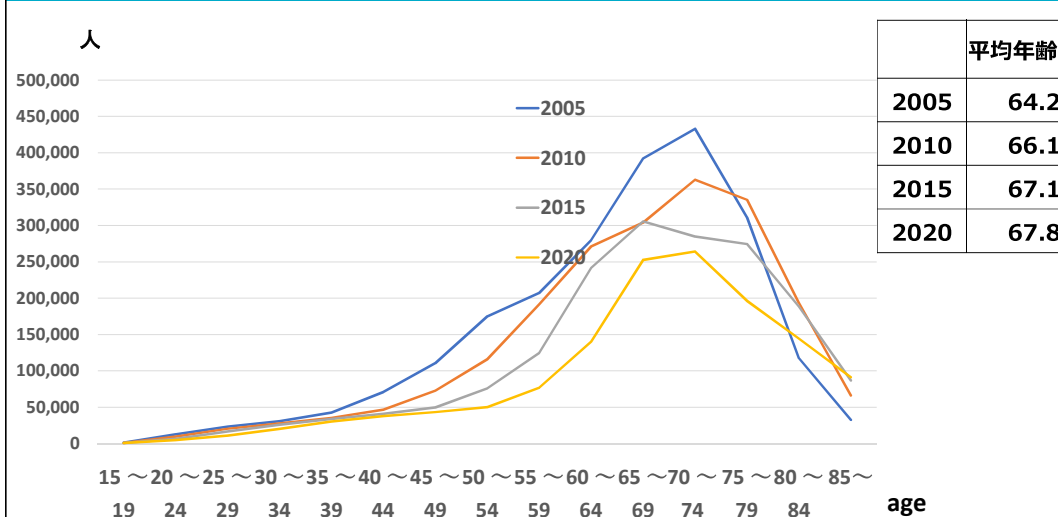


高齢化問題： 基幹的農業従事者数の推移



日本の農業部門における高齢化は深刻

年齢別農業従事者数の推移

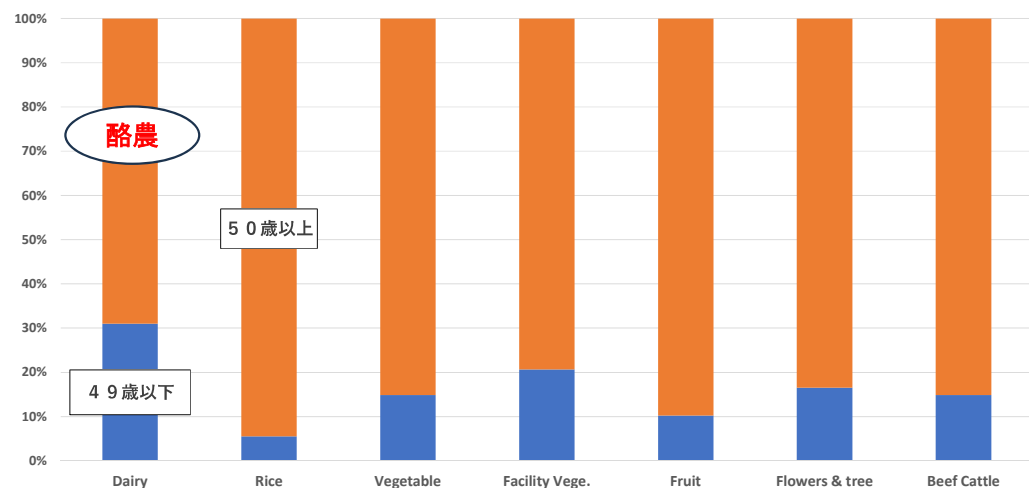


農業分野の担い手と高齢化問題（まとめ）

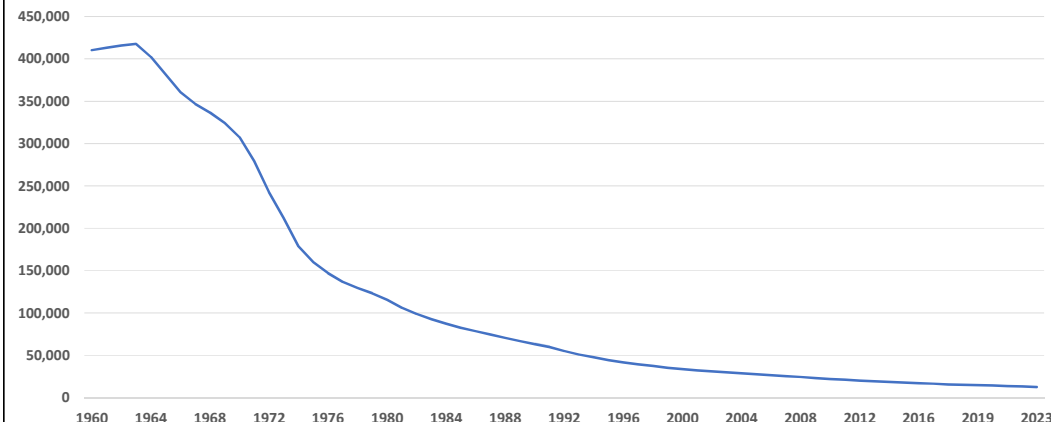
農業の担い手は危機的な状況

- ・ 基幹的農業従事者数 **2010年 205万人→20年 136万人**
65歳以上 9割 平均年齢 66.1歳→67.8歳
49歳未満 14.7万人
- ・ 国の計画（**2023年度までに基幹的農業従事者**）
 土地利用型作物30万人,野菜・果樹・畜産54万人,
 法人6万人 **計90万人**
 うち**49歳未満 40万人確保→2万人/年 新規就農者必要**
 （離職率3割で**2.8万人**）
- ・ 新規就農者数 対前年度12.3%減で5万人を切る
49歳未満 16,870人

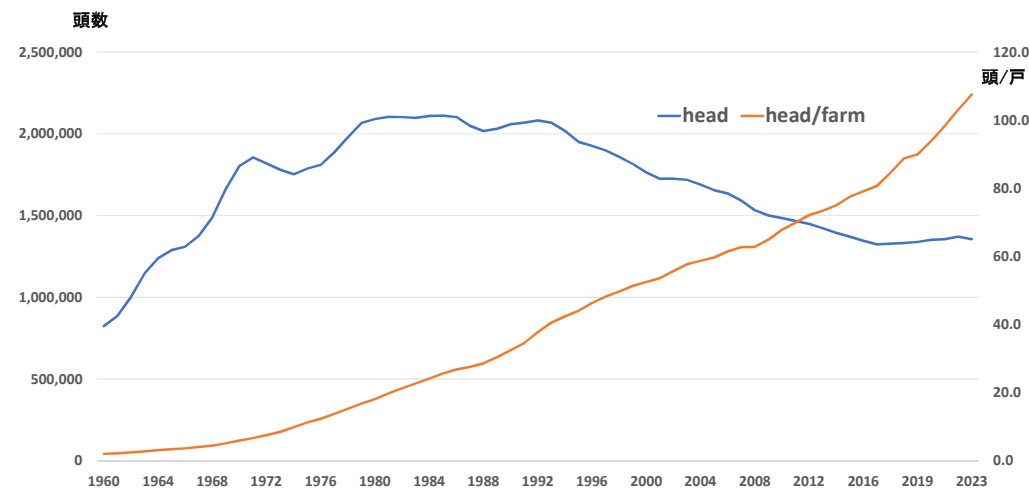
酪農部門は相対的に若年齢層割合高い



しかし、酪農家戸数の減少は急激



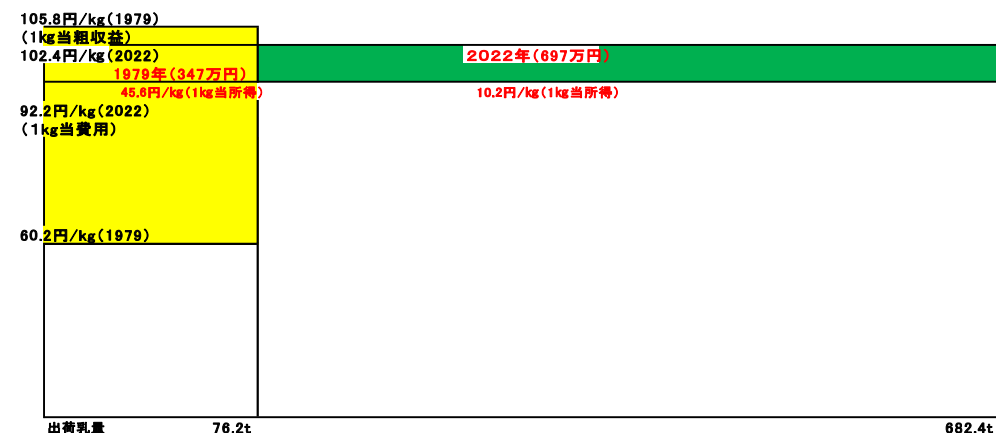
規模拡大は急速だが



薄利多売の収益構造へ変化⇒経営の強靱性低下

1979年と2022年の比較

所得/kg : 45.6円→10.2円、出荷量 : 76.2トン→682.4トン



酪農分野における新規就農者の育成

・農場リース制度（北海道、1982年設立）

これまでに 酪農部門で**約400の新規就農**。

- ・北海道農業公社が廃業した酪農場を買い取り、整備管理し、若い夫婦に**5年間リース**
その後、新規就農者が農場を買い取る。

農場リース制度



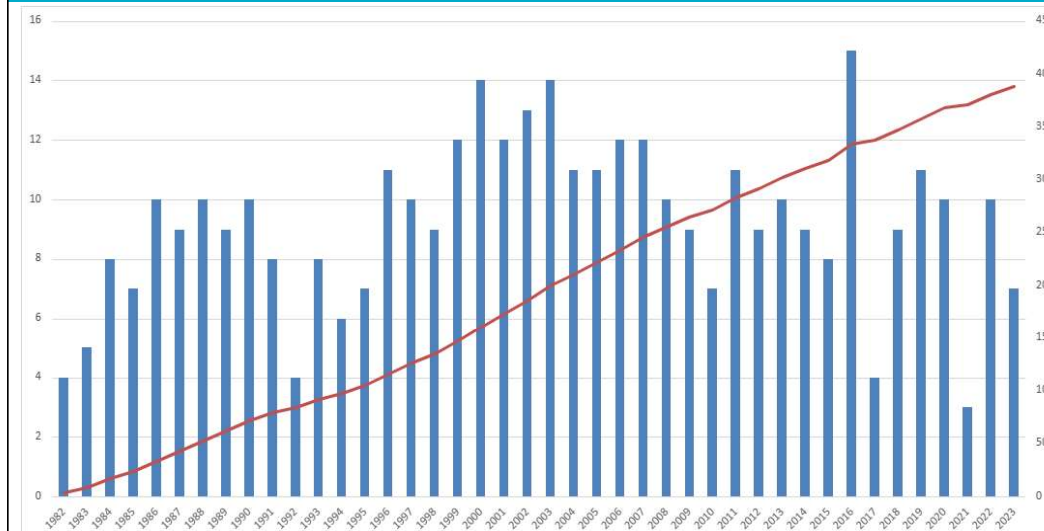
酪農分野における新規就農者の育成

・農場リース制度（北海道、1982年設立）

これまでに 酪農部門で**約400の新規就農**

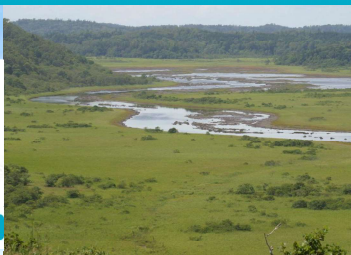
- ・北海道農業公社が廃業した酪農場を買い取り、整備管理し、若い夫婦に**5年間リース**
その後、**新規就農者**が農場を**買い取る**。
- ・リース及び補助金は、新規就農にとっての障壁である資金調達の難しさを軽減

農場リース制度による新規就農者数の推移



事例：北海道浜中町

生乳生産量 91,214 t (2023年)
 生乳販売高 108億円
 搾乳戸数 136戸
 1戸当たり乳量 671 t
 乳牛頭数 22,782頭
 1戸当たり頭数 100.9頭
 草地面積 15,000ha
 ハーゲンダッツアイスクリームの原料乳供給



事例：北海道浜中町

- ・新規就農者酪農家136戸のうち50戸(37%)
- ・酪農と地域社会が維持できる
- ・新規就農者研修牧場を1991年に設立
 - 本場：研修生5名 96頭フリーストール
 - 分場：研修生2名 64頭スタンションつなぎ
- 研修牧場で3年間研修
 - 給与：夫婦月額330,800円 単身184,900円
- ・その後、公社制度、JA独自リース制度利用で新規就農
 - ☆リース制度の半額助成 約2,000万円
 - ☆固定資産税相当額助成 5年間で150万円



浜中町研修農場と新規就農家族



関連会社出資の法人経営酪農場を新設

浜中町は酪農維持のため、農機販売会社など酪農
 関連企業に出資を募り、法人経営の酪農場を開設
 関係会社から従業員として採用
 そのうちの1人は、新規就農



その他の酪農における新規就農制度

1. 全酪アカデミー



- ・全酪連、全国酪農協会などが、**出資して設立**
- ・新規就農希望者**3年間従業員として酪農研修**
- ・**2年目と3年目**には、**就農予定農場で研修**
- ・**2023年に、最初の新規就農者2組が誕生**

その他の酪農における新規就農制度

1. 全酪アカデミー



その他の酪農における新規就農制度

2. JA畜産経営継承支援事業

農協四連、毎年5億円提供(上限3千万円基本半額助成)、中止農家の農地や施設等をJAが買収、新規就農者に継承。**債務整理、親子間継承も対象**
2001年度にスタートし、2024年度までに400戸の畜産経営の経営継承実施。

このうち、254戸(64%)が酪農家で、そのほとんどが北海道、その他の地域は27戸

JA畜産経営継承支援事業 実績表

年 度	県 数	J A 数	取組件数 (回収不能件数)	回収不能額 (1戸当たり)	事業費 (1戸当たり)	助成額 (1戸当たり)
2001年～05年度	3	11	63(38)	34.3億円 (4.3億円)	18.7億円 (2,964万円)	4.9億円 (774万円)
06年～10年度	3	12	73(18)	10.2億円 (5,683万円)	12.9億円 (1,765万円)	5.7億円 (783万円)
11年～15年度	5	11	75(12)	7.3億円 (6,121万円)	18.6億円 (2,483万円)	7.8億円 (1,039万円)
16年～20年度	8	17	112(4)	1.1億円 (2,649万円)	38.3億円 (3,418万円)	16.2億円 (1,448万円)
21年～24年度	7	16	77(2)	0.8億円 (4,050万円)	27.2億円 (3,533万円)	10.8億円 (1,404万円)
合 計			400(74)	53.7億円 (7,257万円)	115.7億円 (2,892万円)	45.4億円 (1,135万円)

酪農ヘルパー制度

- ・酪農ヘルパーからの**新規就農者**
- ・専門ヘルパー員が1日2回酪農場に出向いて搾乳などを行い、酪農家の休日を提供。**全国約252組織（2023）**
- 常勤ヘルパー員843人、臨時ヘルパー611人**
- ・1農場あたり平均25日/年の休日を提供
- 1994年以降、245人の元ヘルパーが新規就農**
- ・酪農ヘルパーは**酪農技術の習得**の他、**地域を知り、農家と知り合う**ことができる



酪農ヘルパー傷病時互助制度

- ・酪農家が**病気やケガで入院**した際、**割引料金**で利用可能
- ・**長期入院で休業**を余儀なくされた酪農家も**経営継続が可能**
- ・酪農家の高齢化に伴う高齢疾患への対応に有効
- ・38都道府県、68組織、7,313戸、20,046人加入(2023)
- ・補助実績 補助対象 1,485人、21,048日（**14日/人**）
- ・負担軽減額 22億円（**14.9万円/人**）
- ・軽減割合52.9%(国補助26.2%、互助組織負担26.7%)
- ・補助対象者数割合(補助対象/参加数) **7.4%**

新規就農者の事例 一瀬川一郎氏



- 1994年 大学卒業(畜産学科)
- 1994-1996 アメリカ西海岸の酪農場で研修を受ける
(一般社団法人 国際農業者交流協会)
- 1996-1997 神代牧場 従業員(群馬県)
- 1997-1998 NZ酪農場、従業員、ワーキングホリデービザ、放牧に興味がある
- 1998-2002 **家業の貨物船の手伝い、廃業後**
- 2002-2004 **ウェストヒルズファーム 従業員(鳥取県)**
酪農家になるための準備
- 2004年 結婚後、**故郷の山口県周防大島で新規就農**

新規就農者の事例 一瀬川一郎氏



瀬川氏の新規就農についての思い

私は**35歳**で農業を始めたが、もう**少し早ければ**もっと良かったと思いますが、**経験も貯金もある段階で就農**できました。

鳥取の農場を辞めて結婚したとき、新しい農業の場を探していました。

たまたま故郷に所有者が急死された酪農場を紹介されました。私は**貯金で牛とトラックを購入し、酪農施設を含めた農場をリース**して就農しました。**借金も家賃もゼロ**でスタートできたので、安心感がありました。

担い手確保に必要なこと

1. 農業階梯の整備 日本型畜産経営継承制度検討2004

・オセアニアの**シェアミルカー**制度

コントラクトミルカー→シェアミルカー→オーナー→引退

・北海道の**リース農場**制度

研修農場→(ヘルパー、実習生)→リース農場→オーナー

農業階梯の整備は、**北海道の農場リース制度が嚆矢**
都府県では、全酪アカデミーなどで整備されつつあるが、**なお不十分**

担い手確保に必要なこと

2. **農業者教育**（農業階梯の一環）
（経営・技術がわかる人材の育成）
農業専門職大学の試み

3. やりがい

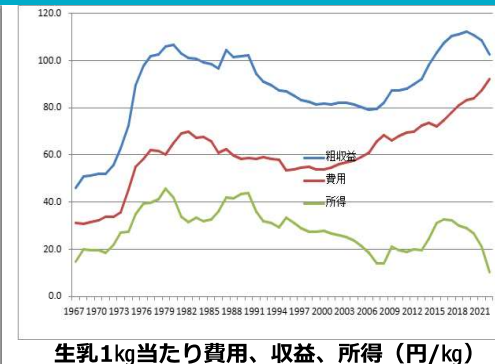
4. 見通しのある**安定的な所得**
（セーフティネット必要）

収益性が急速に悪化する酪農経営

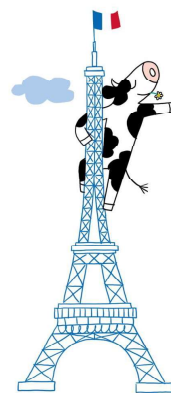


1戸当たり酪農所得の推移 (万円)

酪農収益悪化による経営悪化⇒酪農中止農家増加・就農希望者減
⇒**セーフティネットの強化が必須**



生乳1kg当たり費用、収益、所得 (円/kg)



Merci beaucoup!



**DAIRY
2024 THE
FUTURE**